

平成 26 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 清雄  
コード番号 3088 東 証 一 部  
問 合 せ 先 広報室長 高橋 伸治  
TEL (047-344-5110)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成26年5月15日付で公表いたしました平成27年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想値の修正

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 ( A )	510,000	22,500	24,600	13,400	245.29
今 回 修 正 予 想 ( B )	490,000	19,000	21,000	11,250	207.80
増 減 額 ( B - A )	△20,000	△3,500	△3,600	△2,150	
増 減 率 ( % ) ( B 対 A )	△3.9	△15.6	△14.6	△16.0	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月 期)	495,385	22,438	24,514	13,355	246.76

#### 2. 修正の理由

当社グループは新たな経営体制のもと美と健康の分野（H&B事業）に特化した「ビッグデータの収集と利活用」及び「マーケティング技法の充実」を基軸に、エリアドミナント戦略に基づき63店舗を新規出店し、店舗とネットが融合したオムニチャネルの推進としてシステムなどの基盤を構築すると共に、その展開に先駆け、お客様との関係性強化とタイムリーな情報発信を目的に平成26年8月からモバイル端末を活用した「マツモトキヨシ公式アプリ」を開発いたしました。

また、更なるマーケティングの深化として、お客様の購買動向の分析に基づいたポイントカード及びLINEを活用した効果的かつ効率的な販促策の実践及びライフスタイルの変化に対応した新業態店舗の開発など、今後の事業規模の拡大と収益改善に向けた様々な経営戦略を推進してまいりました。

このような状況のなか、平成27年3月期第2四半期累計期間におきましては、消費税増税前の駆け込み需要の反動減が想定以上に長引き、消費低迷が継続したことに加え、集中豪雨や記録的な大雨による不安定な天候要因が大きく影響し、シーズン商品の展開を中心に厳しい状況で推移いたしました。

平成27年3月期通期業績予想におきましては、第3四半期に入り売上高は回復基調にありますが、相次ぐ大型台風の上陸や消費者の慎重な購買意識は継続し、今後も厳しい経営環境が想定されると共に、来期以降の経営戦略の早期実現に向けた基盤作りに伴う先行費用などを鑑み、売上高490,000百万円、営業利益19,000百万円、経常利益21,000百万円、当期純利益11,250百万円に修正いたします。

当社グループといたしましては、通期連結業績達成に向け全社一丸となって取り組んでまいります。

#### **【留意事項】**

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

以上